

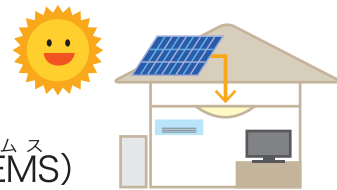
3 地球温暖化対策 8億6,240万円

「京都議定書」誕生の地、環境モデル都市として様々な地球温暖化対策事業に取り組んでいます。そのうちの一部を紹介します。

● 自立分散型エネルギー利用促進事業

以下の設置費用の一部を助成します。

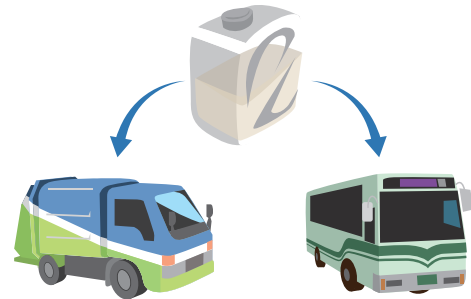
太陽光発電システム、蓄電システム、太陽熱利用システム、
家庭用燃料電池システム、家庭用エネルギーマネジメントシステム (HEMS)



【問合せ先】地球温暖化対策室 TEL: 075-222-4555

● 使用済てんぷら油の市民回収奨励事業

市民の皆様による使用済てんぷら油の回収実施に対し、助成します。



【問合せ先】まち美化推進課 TEL: 075-213-4960

● こどもエコライフチャレンジ推進事業

こども達が、地球温暖化問題について考え、体験を通じてエコライフの定着を図るプログラムを、全市立小学校で実施しています。



【問合せ先】地球温暖化対策室 TEL: 075-222-4555

より一層収入の使い道を知っていただけるよう、これからも分かりやすい広報に努めていきます！
有料指定袋の収入を活用した事業のチラシやパンフレットには「目印のマーク」が掲載してあるのよ。探してみてね！

目印のマークです

この事業は
家庭ごみの有料
指定袋の収入が
使われています

この事業は家庭ごみの有料指定袋の収入が使われています

美しい地球を次世代に引き継ぐため、
これからも家庭ごみ有料指定袋の収入を有効活用していきます！

このパンフレットに関する問合せ先は…

環境政策局ごみ減量推進課 TEL 075-213-4930

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000016745.html>

この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！

ご存知ですか？ 家庭ごみ有料指定袋制 のこと

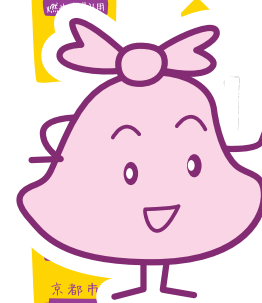
平成26年10月 京都市

京都市のごみ袋は
なぜ有料？

京都市はごみ袋の収入を
何に使ってるの？

市民の皆様の御理解・御協力により、家庭からのごみの量は、平成18年度に家庭ごみ有料指定袋制を導入して以降、2割以上も減りました。
その結果、京都市の市民1人1日当たりのご家庭からのごみ量は、445gと政令市で最も少ない量（他の政令市平均595g）となっています。ありがとうございます。
より一層のごみ減量に向け、御協力をお願いします。

有料指定袋の販売収入額は、
年間約19億円にもなります
(平成26年度予算)。
この収入を使って、ごみ減量・リサイクルの推進など、市民の皆様身近で環境にやさしい事業を行っています。



京都市

この事業は家庭ごみの有料指定袋の収入が使われています



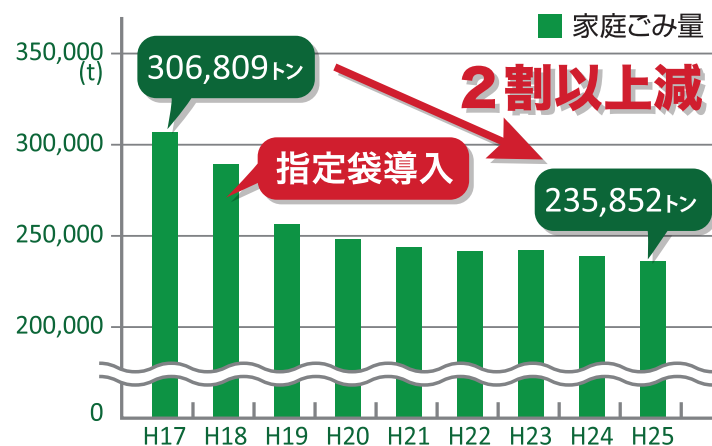
家庭ごみ有料指定袋制は、ごみ減量・リサイクルを推進することを目的としています！

- **ごみの減量により、クリーンセンター（清掃工場）は、かつての5工場から3工場にまで減らすことができました。**

- また、ごみ処理にかかる費用も大幅に削減できました。

削減効果

- ◆ クリーンセンターの建替経費
約400億円×2工場分＝**△約800億円**
- ◆ クリーンセンターの年間運営費
約10億円×2工場分＝**△約20億円/年**
- ◆ 年間の収集運搬コスト（平成18年度→平成25年度）
△約40億円/年



ごみを減らすことで、地球温暖化の原因となる温室効果ガス（CO₂など）排出量が減少し、低炭素社会の実現にもつながります。京都市唯一の埋立処分場をできるだけ長く活用していくことにもつながります。

- しかし、ごみの処理には、年間282億円もの巨額の費用がかかります。（平成24年度総経費）

45リットルごみ袋（燃やすごみ）1袋当たりの処理経費：288円

- また、ここ数年は、ごみの減量がわずかな量にとどまっています。
- クリーンセンターをより長く使っていくためには、定期的なメンテナンスと、約20年間使用した後には、大規模な改修が必要です。
- そのときには、**市全体のごみを2工場で処理しなければなりません。**
- そのため、ごみの減量を加速させ、**現在の年間47万トンから39万トンまで削減する必要があります。**
- **資源・エネルギーの有効利用・環境負荷の低減、ごみ処理コストの最小化に向けて、より一層の減量に御協力をお願いします。**

有料指定袋の収入のうち、皆様に身近で環境にやさしい事業へ活用する額は、

15億4,710万円（平成26年度予算）

販売収入額18億8,430万円 + ファンド取り崩し3億7,330万円 - 有料指定袋の製造経費等7億1,050万円

これを3つの分野の事業に活用しています。

また、有料指定袋からの収入は、南部クリーンセンターの建替えに伴う世界最先端の環境学習拠点の整備など、中長期的な事業に役立てるために、一部を「京都市民環境ファンド」に積み立てています。

具体的な3つの分野の事業について、次から見てみよう！

めぐるくん



1 ごみ減量・リサイクルの推進 6億6,870万円

個人やグループ単位でごみ減量・リサイクルに取り組んでいただく事業を行っています。そのうちの一部を紹介します。

● 雑がみ等の紙ごみ分別・リサイクル徹底推進事業

- ◆ 「雑がみ」（包装紙、紙袋、紙箱などのリサイクル可能な紙）について、地域のコミュニティ回収、古紙回収業者、回収拠点へお出しください。
- ◆ これらの利用が困難な方につきましては、月に1度の「小型金属類・スプレー缶」と同じ日時・同じ場所にお出しいただきましたら回収します。



【問合せ先】まち美化推進課 TEL：075-213-4960

● 地域単位で資源物を回収するコミュニティ回収事業

古紙類（新聞・雑がみなど）、古着類などの資源物を回収する地域の皆様の自主的な取組に対し、助成します。

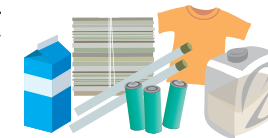


【問合せ先】まち美化推進課 TEL：075-213-4960

● 常設の資源物回収拠点の設置

対象品目 古紙類、古着類、使用済てんぷら油、蛍光管、乾電池、小型家電などの資源物

回収方法 まち美化事務所、各区役所・支所のエコまちステーション、上京リサイクルステーションなどで回収します。



【問合せ先】まち美化推進課 TEL：075-213-4960

● 環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」

ごみ処理・再資源化施設を見学するバスツアーを開催します。



【問合せ先】ごみ減量推進課 TEL：075-213-4930

● 有害・危険ごみ等の移動式拠点回収事業

対象品目 石油類や薬品などの有害・危険ごみ、古紙類、古着類、使用済てんぷら油などの資源物

回収方法 皆様の身近な場所（公園・学校など）で回収します。



【問合せ先】まち美化推進課 TEL：075-213-4960



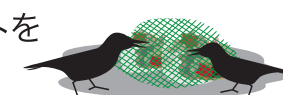
2 まちの美化の推進 1,600万円

ごみの散乱の防止や不法投棄ごみ対策に関する事業を行っています。



● 家庭ごみの防鳥用ネット貸出事業

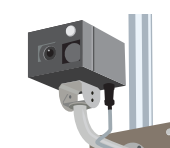
市が収集するごみ収集場所（概ね5世帯以上）ごとに、防鳥用ネットを無償で貸し出します。



【問合せ先】まち美化推進課 TEL：075-213-4960

● 不法投棄監視カメラ等の貸出事業

常習的な不法投棄に悩む地域団体に対して、監視カメラを無償で貸し出します。



【問合せ先】まち美化推進課 TEL：075-213-4960